

# 東南おきたま米づくり情報 No.8

令和3年7月5日  
山形おいしさ極める！  
米づくりプロジェクト  
置賜地域本部実践班

良食味＆高品質米の安定生産へ「生育を見極め、適正管理！」  
葉もち要注意！草刈りで斑点米カメムシ対策を徹底！

## 今後の重点技術対策チェック！

- 1. **中干しを作溝とセットで実施している**  
中干しがまだの圃場は→直ちに中干し！

中干しの効果：根域が拡がり、高温時、登熟期に根の活力が維持され、品質アップ！

- 2. **生育診断を実施し、適期・適量を施用している**  
出穂は**平年並み～やや早い**予想です。穂肥は**遅れず施用**！  
※圃場により生育差がみられるため、必ず生育診断を行い、葉色が濃い場合には減肥を行うなど、食味重視の穂肥に努めましょう。

【穂肥の施用時期の目安】

品種	出穂期 (本年予想)	出穂期 (平年)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (N kg/10a)
ヒメノモチ	7月29～31日	7月31日	出穂25日前	7月4～6日	2.0
ひとめぼれ	8月2～4日	8月4日	出穂20日前	7月13～15日	1.5
雪若丸	8月3～5日	8月5日	出穂25日前	7月9～11日	1.5
はえぬき	8月4～6日	8月6日	出穂25日前	7月10～12日	1.5～2.0
つや姫	8月9～11日	8月11日	出穂30日前	7月10～12日	1.0～1.5
コシヒカリ	8月10～12日	8月12日	出穂18～15日前	7月23～28日	1.0～1.5

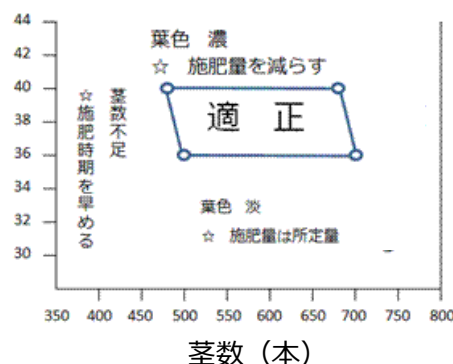
【幼穂長と出穂前日数】 ～親茎をむいて幼穂の長さで判断～

幼穂の長さ：出穂前日数 → 0.5～1mm：25日    1.5～2.0mm：20日    8～15mm：18日    2～5cm：15日

## はえぬきの穂肥診断 7月上旬（10葉期）

- 茎数と葉色が適正内であれば、追肥は出穂25日前、窒素成分 1.5～2.0 kg/10a を施用する。
- 茎数が 700 本/m<sup>2</sup>以上、または**葉色が 40 以上の場合**、窒素成分を減らし、**1.0～1.5kg/10a に減肥する**。
- 茎数が 450 本/m<sup>2</sup>以下の場合、穂肥時期を早める。

葉色 (SPAD)



### □ 3. 斑点米カメムシ類対策として草刈りを徹底している

斑点米カメムシ類「多い！」状況

→**早急に草刈りを実施**し、密度を減らしましょう！

※7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈）を地域ぐるみでしっかり行いましょう。

※水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生減となるため、残草対策もしっかり行いましょう。

※除草剤の使用時期を確認し、使用しましょう。



アヒゲホトリカスミカメ



アカスジカスミカメ

### □ 4. いもち病の**早期発見・早期防除**を徹底している

本田で「葉いもち」の発生が**例年より早い時期から確認**

されています！また、感染に好適な条件が続いており、葉いもちの多発が懸念されます。

しっかり圃場を観察し、**早期発見・早期防除を徹底**しましょう！



葉いもち病斑

### ○6月30日現在の生育状況（農業技術普及課調査圃）

- ・「はえぬき」、「つや姫は」平年と比較し草丈は長く、茎数は平年並み～やや多く、葉数、葉色は平年並み。
- ・「雪若丸」は指標値と比較し、草丈、茎数は指標値並み、葉数は多く、葉色は濃い状況です。

「はえぬき」の生育

項目	川西町(移植 5/19)	
	調査値	平年比(差)
草丈(cm)	48.8	112
茎数(本/m <sup>2</sup> )	719	100
葉数(L)	9.1	-0.2
葉色(SPAD)	44.0	-0.5

「つや姫」の生育

項目	川西町(移植 5/20)	
	調査値	平年比(差)
草丈(cm)	49.1	118
茎数(本/m <sup>2</sup> )	531	104
葉数(L)	9.3	±0
葉色(SPAD)	43.9	+0.5

「雪若丸」の生育

項目	高畠町(移植 5/17)	
	調査値	指標比(差)
草丈(cm)	41.2	100
茎数(本/m <sup>2</sup> )	609	103
葉数(L)	10.3	+1.0
葉色(SPAD)	47.5	+4.5

#### 1 か月予報(気象庁発表)

気温	7/3~7/9	平年並か高い
	7/10~7/16	平年並か高い
	7/16~7/30	平年並
降水量	7/3~8/2	平年並か多い
日照時間	〃	平年並か少ない

## 農作業事故・熱中症に注意しましょう！

- ◎ 「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎ 熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！